



素敵な長崎ガイドブックが誕生!



昨年、一風変わった長崎のガイドブックが出版されました。それが『NAGASAKI インサイトガイド 長崎を知る 77のキーワード』です(右写真)。マスコミでも取り上げられたため、ご存知の方も多いのではないのでしょうか。

この本は、従来のガイドブックとは異なり“子どもたちに長崎の貴重な資産と魅力を伝える”というコンセプトで作られています。出版・編集にデザイン関係者が多く関わっており、長崎くんちやランタンフェスティバルなど、長崎の文化・歴史・建造物などが、豊富な写真とともに紹介されているのが特徴です。

ガイドブックというと旅行で持ち歩くイメージがありますが、デザイン、内容ともにその範疇を超えたこの本は、一種の長崎事典といってもよいほど、とても魅力的な一冊となっています。

皆さんの中には「長崎に住んではいるけど、長崎について詳しくは答えられない」という方もいらっしゃるでしょう。図書館 2階の地域資料コーナーには「長崎を知るための本」がたくさんあります。「もっと長崎の魅力を知って、もっと長崎を好きになりたい」という方は、ぜひ図書館を活用して下さい。

『長崎インサイトガイド』

ナガサキベイデザインセンター/ 出版
講談社 T291.93 ナ

～ いろんな視点から長崎を知る ～

「方言」から・・・



『長崎じげ辞典』
長崎じげ辞典
編集委員会/編
ザ・ながさき
N818.9 ナ

普段私たちが何気なく使っている言葉も、知れば知るほどおもしろい!

「歴史」から・・・



『《トピックスで読む》長崎の歴史』
江越 弘人/著
弦書房
N219.3 エ

一般的な長崎の歴史から、さらに一步踏み込んだ知識が手に入る 1冊。

「文学」から・・・



『ながさき 円形劇場』
林 登紀雄/著
長崎新聞社
N910.26 ハ

一度は読んでおきたい、長崎が出てくる小説がたくさん紹介されています。

< 図書館カレンダー >

※毎週火曜日は休館日です。

※開館時間 朝 10:00～夜 8:00



2月						3月					
日	月	火	水	木	金	日	月	火	水	木	金
		1	2	3	4			1	2	3	4
6	7	8	9	10	11	6	7	8	9	10	11
13	14	15	16	17	18	13	14	15	16	17	18
20	21	22	23	24	25	20	21	22	23	24	25
27	28					27	28	29	30	31	

開館3周年記念特別上映会 としょかんでシネマ を開催しました！

1月5日～10日の6日間、長崎市立図書館では開館3周年記念として「としょかんでシネマ」を開催しました。連日、たくさんのご参加をいただきました。

午前はこども向けのアニメーション、午後は大人向けの映画を上映しました。冬休みということもあり、こどもたちが楽しそうに映画を鑑賞している姿が印象的でした。また、館内にある案内板やチラシを見て「行ってみようか」と足を運ぶ方々もたくさんいらっしゃいました。

寒い日が続きましたが、参加された皆さまの楽しそうな姿を見て、開催してよかったと心から感じる事が出来ました。

本はもちろんですが、素敵な映画に出合える場所としても図書館をご利用いただければ幸いです。

開館3周年記念 特別上映会

新しい年のはじまり・・・
長崎市立図書館では開館3周年を記念して、特別上映会を開催します。
子どもから大人まで楽しめる映画が盛りだくさん！
図書館で映画を楽しみませんか？

2011年 上映プログラム	
午前(10:30開演)	午後(14:00開演)
1月5日 バグズ・ライフ	1月5日 プリティ・ウーマン (120分)
1月6日 シャーロットの おくりのもの	1月6日 スパイダーマン (121分)
1月7日 トムとジェリーの 大冒険	1月7日 幸せのちから (101分)
1月8日 (千鶴の上映はありません)	1月8日 ドリームガールズ (120分)
1月9日 ポカホンタス	1月9日 華麗なるギャツビー (148分)
1月10日 チキン・リトル	1月10日 ナジブと トレジャー (121分)

日にち：2011年1月5日(水)～10日(月)
時間：午前の部 開場 10:15～ 開演 10:30～
午後の部 開場 13:45～ 開演 14:00～
(1月8日のみ 開場 14:45～ 開演 15:00～)
場所：多目的ホール
★どなたでも参加できます。(定員 各120名)
★参加費・事前申込は必要ありません。
★上映は日本語吹き替えです。

長崎市立図書館 TEL. 095(829)4946



また、ランタンフェスティバル特別上映会として、再び「としょかんでシネマ」を2月6日(日)、2月13日(日)に開催します。入場は無料で申込みなども不要です。詳細は、正面玄関横の掲示板やホームページ、としょかんだよりなどでお知らせいたしますので、ぜひご参加ください。

ランタンフェスティバル特別上映会 「としょかんでシネマ」スケジュール



	午前(10時30分開演)	午後(14時開演)
2月6日(日)	WALL・E ウォーリー (日本語吹き替え) 2008年 / アニメーション	いまを生きる (日本語字幕) 1989年 / 監督:ピーター・ウィアー 出演:ロビン・ウィリアムス
2月13日(日)	おさるのジョージ (日本語吹き替え) 2006年 / アニメーション	私の頭の中の消しゴム (日本語字幕) 2004年 / 監督:イ・ジェハン 出演:チョン・ウソン、ソン・イェジン

「としょかんでシネマ」以外にも、長崎市立図書館では毎月「映画上映会」を開催しております。こちらも入場は無料、申込み不要です。皆さまのご来館をお待ちしております。

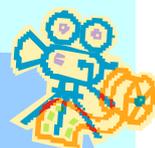
次回の映画上映会は・・・

『タクシードライバー』

2月18日(金)18時～
長崎市立図書館多目的ホールにて開催

マーティン・スコセッシ / 監督 ロバート・デ・ニーロ / 出演

お楽しみに！！



図書館からあなたへ！ブック・バトン

毎月ひとつのテーマをもとに2名の図書館員がオススメの本を紹介します！！

今月のテーマ

挑戦

棋士羽生善治の挑戦

昨年10月、将棋の竜王戦七番勝負の第1局が長崎市内で行われました。挑戦者は羽生善治名人42歳。26歳で7大タイトル全冠を達成。竜王をあと1期獲得すれば史上初の永世7冠です。挑戦を受けるのは渡辺明竜王26歳。7期連続竜王位獲得を目指す、今最も勢いのある棋士のひとりです。結果は4勝2敗で渡辺竜王が防衛。長崎での対局の様子は雑誌『将棋世界』2010年12月号で特集されています。

この2人、2008年にも同タイトルを賭けて戦い、羽生名人が3連勝するも、その後渡辺竜王が4連勝して防衛し、史上初の永世竜王の資格を獲得しました。この第7局の翌々日に行われた翻訳家柳瀬尚紀氏との対談が『勝ち続ける力』にあります。印象深いのは「考えている中身よりも、費やした時間や努力が、曇りなく決断したり、自信を持って次に進んだりする際の支えになる」という言葉。長い歴史をもつ将棋の過去の棋譜を研究する様を知ると、将棋とは対局の相手との戦いだけではなく、過去の棋士達への挑戦でもあるように思えてきます。

対局中の棋士は厳しい表情で近付き難いですが、先崎学八段のエッセイ『先崎学の浮いたり沈んだり』では棋士達の個性豊かな一面が披露され、将棋のルールを知らなくても、その醍醐味や棋士が盤上で繰り広げるドラマを知ることができます。

将棋が好きでひたむきに取り組む棋士の姿は、華やかさはありませんが、見ていると挑戦する勇気が湧いてくるように思うのです。(司書 S)



『勝ち続ける力』

羽生 善治・柳瀬 尚紀/著
新潮社
H796 ハ



『先崎学の浮いたり沈んだり』

先崎 学/著
文芸春秋
B796 セ

「内なる声」が大きな力に

まず、『四千万歩の男 忠敬の生き方』を紹介します。平均寿命が今よりずっと短かった江戸時代、伊能忠敬は50歳で隠居し、江戸に出て星学・暦学を学びます。そして56歳から17年間(約四千万歩)かけて、実測による日本地図を完成させました。こんなことができたのは、緯度1度が何里になるのか確かめたいという思い(この結果から地球の大きさがわかる!)があったからです。「1回しかない人生ですから、自分が好きで、良いなと思うことを、他に何と言われようと愚直なまでに突き詰めていくと、意外にすごいことになると思います。」という、昨年亡くなった著者・井上ひさしさんの言葉が心に残りました。

次は『関口知宏のファーストジャパニーズ』です。これはNHKの番組が元になっていて、関口さんが世界各地で仕事を続けている10人の日本人を紹介しています。地元で認められるまでには本当に大変な思いをしたでしょうが、皆、淡々と普通に生活している姿に親近感を持ちました。著者の絵日記・写真も入っている横長の本です。共に「挑戦」というよりは、自分の「内なる声」に素直に向き合い、それぞれの環境と気持ちとの折り合いをつけながら努力を積み重ねた人たちだと思います。読んだ人が、一步を踏み出すきっかけになったら良いなと思います。(司書 T)



『四千万歩の男 忠敬の生き方』

井上 ひさし/著
講談社
B289.1 イ



『関口知宏のファーストジャパニーズ』

関口 知宏/著
徳間書店
J334.5 セ

< 寄贈紹介 >



「大川英美子文庫」

故大川英美子様のご遺志により、読書を通じて豊かで明るい人づくり、社会づくりに貢献したいというご趣旨のもと、ご遺族一同により平成 17 年 1 月に 6603 冊（1000 万円相当）で文庫を設置されました。

その後もご遺族が寄贈を続けられ、今年度は吉谷弘子様から 868 冊（100 万円相当）を寄贈いただきました。これまでにいただいた図書は 9529 冊になります。ありがとうございました。

< 図書貸出券には有効期限があります >

- 登録された日以降の誕生日から 3 年 2 ヶ月後に期限が切れます。
- 有効期限の 2 ヶ月前よりカウンターにて更新のご案内をいたします。
- 更新手続きは誕生日から有効期限までの 2 ヶ月間に行ってください。
- 更新手続きには申込書の記入と、住所・生年月日が確認できるもの（免許証や保険証など）の提示をお願いいたします。（小学生以下の方は申請書の記入のみ）
- **有効期限が切れた貸出券は利用停止となり、貸出・予約ができなくなりますのでご注意ください。**

< 1 月のとしょかんラジオ >

テーマ「今年こそ本が読みたい人へ」

毎月第 2 金曜日午後 2 時、長崎シティ FM(81.3MHz)
「ウィーパラライブラリー」で放送中！

『二つの月の記憶』 岸田 今日子 講談社 F913.6 キン



本は読みたいけど「時間がない」という方には、ショートショートをおすすめします。ショートショートの特徴は、ひとつの話を軸に印象的なオチをもたせる点。有名なものは皆さんご存知の星新一ですが、今回紹介する『二つの月の記憶』の著者は、ムーミンでおなじみの岸田今日子さんです。この作品は 7 つの掌編で構成されています。1 つの話が約 10 ページと、内容が短すぎてあらすじは語れませんが、ブラックユーモアが効いたパンチのある 1 冊です。

『こどものころにみた夢』 角田 光代/石田 衣良 他 講談社 F913.6 コド



「何を読んだらいいのかわからない」という方にはアンソロジーがおすすめです。『こどものころにみた夢』では「夢」というキーワードをもとに大勢の作家が想像力を膨らませて作品を提供しています。ひとつのテーマでありながら、作家の個性があふれている内容となっています。アンソロジーは、色々な作家に出会うチャンスでもあるので、お気に入りの作家を見つけてみてはいかがでしょうか？

< 予約ランキング >

※ランキングは 1 月 15 日現在のものです。

※予約が集中している本は数ヶ月お待たせすることがあります。予めご了承下さい。

順位	書名	著者	出版社	予約数
1	夜行観覧車	湊 かなえ	双葉社	318
2	KAGEROU	齋藤 智裕	ポプラ社	291
3	プラチナデータ	東野 圭吾	幻冬舎	266
4	往復書簡	湊 かなえ	幻冬舎	256
5	<small>もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら</small>	岩崎 夏海	ダイヤモンド社	237
6	白銀ジャック	東野 圭吾	実業之日本社	221
7	小暮写真館	宮部 みゆき	講談社	205
8	母	姜 尚中	集英社	189
9	孤舟	渡辺 淳一	集英社	148
10	あんじゅう	宮部 みゆき	中央公論新社	141

